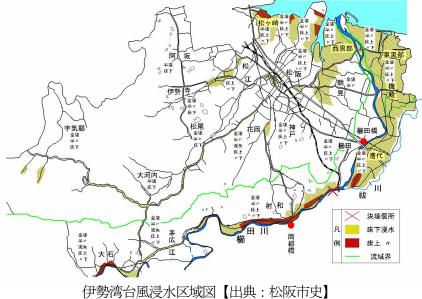
- ●伊勢湾台風と治水対策
  - ・昭和34年9月伊勢湾台風による甚大な被害の発生
  - ・多目的ダムである蓮ダムが平成3年に完成
  - 下流部の水位低下対策が急務
- ●豊かな自然環境を有する香り高き清流
  - ・ 香肌峡に代表される豊かな自然環境
  - 多様な動植物の保全
- ●伊勢神宮とゆかりある祓川の保全
  - 伊勢神宮とゆかりのある歴史をしのばせる祓川
  - ・祓川の良好な河川環境の保全
  - ・櫛田川からの洪水分派計画の見直し

## 伊勢湾台風と治水対策



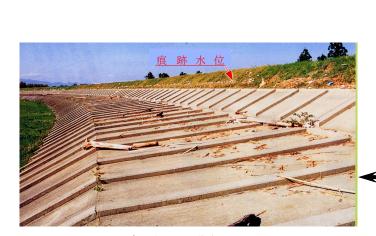




洪水調節中の蓮ダム (H9.7 撮影)



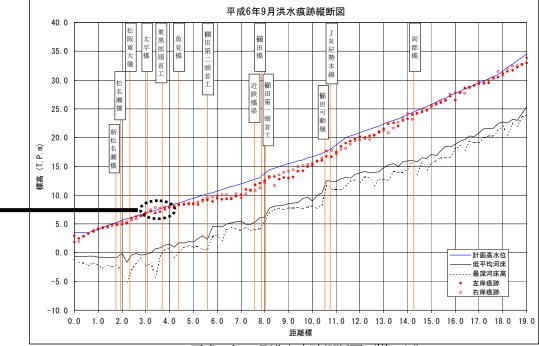
櫛田可動堰(H13.3撮影)



平成6年9月洪水における 櫛田川左岸3.4k付近の痕跡水位



輪中地区(H13.3撮影)



平成6年9月洪水痕跡縦断図(櫛田川)



太平橋による流下阻害 (航空写真 H13.3 撮影)

#### ●伊勢湾台風(昭和34年9月)による甚大な被害 【被害】

・ 死者・行方不明者: 16人・ 浸水家屋 : 3,814戸

#### ●伊勢湾台風を契機に直轄事業化

- ・ 昭和37年より直轄事業として着手
- ・ 伊勢湾台風の推定流量 4,800m3/s を計画対象
- ・ 流下能力上のネックだった、櫛田川頭首工の可動堰化 (S44)
- 蓮ダムの完成(H3)

#### ●下流部の水位低下対策が急務

- ・ 平成6年9月洪水において、下流部で計画高水位を超過
- ・漏水の発生等により危険な状態
- → 下流部で洪水流下の支障となっている橋梁の架け替え
- → 下流部の河道掘削

【提供:市川雄二氏】

## 豊かな自然環境を有する香り高き清流



オオダイガハラサンショウウオ 【提供:清水善吉氏】



ネコギギ 【提供:清水義孝氏】

流域内国定公園・県立自然公園指定状況

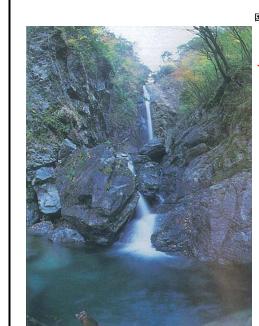
香肌峡県立自然公園



コアジサシ 【提供:市川雄二氏】



ハマボウ【提供:清水善吉氏】



室生赤目青山国定公園

池木屋山



河口部 干潟 (H13.3 撮影)

#### ●香肌峡に代表される豊かな自然環境

- ・上流部には、ブナの原生林が残り、オオダイガハラサンショウウオ(三重県指定天然記念物)が生息
- ・ 中流部は岩盤の露出とともに、連続する瀬・淵にはア ユ、ネコキギ(国指定天然記念物)が生息
- ・香肌峡の名が示すように櫛田川沿川には、アユ、お茶、 椎茸といった香り高い産物が多い
- ・河口付近の干潟には、ハマボウなどの海浜性植物や、 ゴカイなどの汽水性底生動物が生息
- →香肌峡に代表される豊かな自然環境を保全する
- →多様な動植物の保全に努める

## 伊勢神宮とゆかりのある祓川の保全



祓川沿川の河畔林



祓川に生息するタナゴ類 【提供:清水義孝氏】



斎宮跡全景 【出典:斎宮跡パンフレット】



市民団体の活動(現状調査) 【出典:広報めいわ】



斎宮まつり 【出典:明和町勢要覧】

#### ●伊勢神宮とゆかりのある歴史をしのばせる祓川

- ・派川祓川は、古来、櫛田川の本川であったとされ、永保2年(西暦1082年)の地震や大洪水により、現在の櫛田川が本川、祓川が派川になったと伝えられている
- ・ 祓川はその河畔沿いに、ケヤキ等の河畔林が繁茂し、タナゴ類が生息する自然豊かな小河川
- ・ 祓川の名は、斎王が都から斎宮へ入るときに、この川が禊 ぎに用いられたことに由来
- ・歴史をしのばせる川として地域の人々に古くから親しま れている
- ・ 祓川では、環境保全、水質浄化等を目的とした市民活動が活発

# ●櫛田川からの洪水分派計画を見直し、祓川の良好な河川環境を保全

- ・既定計画では櫛田川から祓川に 200m% の洪水を分派
- ・地域からは昔からの豊かな自然と歴史をしのばせる祓川 の保全を要望
- → 祓川の良好な河川環境を保全するため、 櫛田川からの洪水分派を見直す

#### ●基本高水のピーク流量と計画高水流量

基準地点 面郡橋

基本高水のピーク流量 4,800m3/s

#### 検証

①流量確率から 4, 700m3/s~6, 500m3/s

②伊勢湾台風(S34.9洪水)の推定流量から、

約4, 800m3/s

以上から、現計画を踏襲

計画高水流量 4, 3 0 0 m3/s

#### ●正常流量

基準地点 両郡橋

正常流量 概ね 9 m3/s